

としょえもん

2015年(平成27年)
第2号



編集・発行: 八王子市学校図書館サポートセンター

八王子市は、平成27年3月に平成27～31年度の5か年を計画期間とした「第3次読書のまち八王子推進計画」を策定しました。この推進計画では、子どもの読書活動の定着の促進や、自らの課題を解決するための一助として、学校図書館や公立図書館を利用し、読書活動が促進されることを目標としています。



柏木小学校 図書ボランティアの皆さんで本の修理作業中

読書のチカラ

八王子市教育委員会

統括指導主事

青藤郁央

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果によると、児童質問紙で「読書が好きですか。」との質問に「当てはまる」と回答した本市の小学6年生は、主として「活用」に関する問題が出題される「国語B」の平均正答率が「当てはまらない」と回答した児童より、20%以上も上回っているとの結果が出ています。このことは、中学3年生対象の同調査の結果にも顕著に表れています。つまり、教科の学力と読書好きとは強い関係が見られるのです。

読書をすることは、単に「知識を増やす」ことにとどまるのではなく、論理的な思考を支える言語を習得する上で大切な役割を果たしています。また、読書に親しみ、その習慣を身に付けることは、子どもの情緒的な発達をはじめ「生きる力」の基礎を育む上でも大切な意味をもつものです。

日が短くなり、屋内で過ごす時間が多くなります。この機会に、子どもたちが、本に親しむ雰囲気や環境をぜひ整えたいものです。

学校図書館ボランティア活動紹介

学校図書館を支える、なくてはならない力

活動の内容はさまざまでも、
子どもたちの読書や学習活動を支える大きな力です。

「七色の
虹いろパワーに支えられ」

第七小学校

第七小学校の図書ボランティアの皆さんは、児童が使いやすく、本と親しめるような環境作りをめざして毎週金曜日に活動しています。学校と連携をとりながら図書室整備活動を推進するほか、図書ボランティア日より「虹いろ通信」を発行しています。

「虹いろ通信」には、学校全体で取り組む読書週間や読み聞かせ、図書館整備の活動案内、皆さんが参加した研修内容の報告、学校の蔵書で読み聞かせに活用した本の紹介なども掲載しています。

さらに、本校の南門にある掲示板に、子どもたちが手に取りたくなるようなポスターを季節ごとに飾るなど、図書館整備に欠かせない存在として活躍です。



「恒例の全校読み聞かせ」

恩方第一小学校



恩方第一小学校では、クラスでの読み聞かせとは別に、学期ごとに二、二回、昼休みの時間を活用してボランティアの皆さんによる全校読み聞かせを行うのが恒例になっています。

学校図書館では高学年向けに、絵本室では低学年向けに、絵本の読み聞かせをしています。それぞれ100名前後の児童が集まり、自由参加にもかかわらず、毎回満員になります。

読み聞かせ終了後、子どもたちには手作りのしおりが配られます。今回のしおりは、先生が作成した秋の実のイラストの入ったしおりでした。



「なくてはならない存在」

南大沢小学校

南大沢小学校の図書ボランティアの皆さんは、毎週水曜日に活動しています。

本校では、年に一度、「おはなしの部屋」という、児童が参加できる読み聞かせや寸劇が図書ボランティアにより行われ、今年は読書週間にあわせて開催されました。

ペープサート(紙の人形劇)では、「ブレーメンの音楽隊」と「橋役人くえらそうな役人をやっつけろ」、謎を解決しながらの寸劇「なぞなぞ探偵は君だ!ポアロからの挑戦状」や音楽を聴きながら英語で歌う「英語から方言まで」マスターすれば君も国際人」の4つのおはなしの部屋です。どこも大勢の子どもたちでにぎわいました。

皆さんの活動が、南大沢小学校の学校図書館を明るくしてくれています。



四谷中学校

図書だよりをPOPにして展示

～図書委員と学校司書の協働～



四谷中学校図書委員会は、毎月一回、自校蔵書を紹介する「図書だより」を発行しています。とても丁寧に描かれていて飾り文字や凝ったイラストが美しく、司書が切り抜いてそのままPOPとして展示しています。紹介された本は手に取る生徒も多く、よく貸し出されます。

図書の授業がない中学校は、普段目立たない本をテーマでまとめて紹介するテーマ展示などで、人目を引く工夫をしています。司書が作っているテーマ展示もいずれ図書委員と協働するなど提案していきたいです。

学校図書館で輝く子どもたち

チーム学校図書館～みんなが主役

第二小学校

こだま学級の図書の時間



週一回の図書の時間には、図書の貸出・返却の他、読み聞かせを行っています。こだま学級の図書カードには、返却のハンコを押す代わりに、いろいろな絵が描かれたシールを貼っています。本を読んだ冊数だけ、好きなシールを自分で貼れることが、楽しみになるからです。

さまざまな学年の子どもがいる学級なので、読み聞かせではできるだけみんなに楽しんでもらえる本を読むようにしています。例えば、絵を見るだけでも楽しい絵本やリズムミカルな文章が魅力的な本、聴き手に問いかけができる本などを選んでいきます。

こだま学級の子どもたちは、進んで読書をし、熱心に読み聞かせを聴いて、いつもたくさんの感想を伝えてくれます。

横山第二小学校

調べ学習を楽しんだ2年生

10月9日 1・2年生は遠足で多摩動物公園へ行きました。

2年生の図書の時間を活用した事前学習では、学校図書館にある図鑑や、4類の動物の分野から、コアラ、うさぎ、マレーバクやゾウなど、自分の好きな動物の本を探し、それぞれの特性を調べました。生き物の生態についての知識も増え、学校図書館の使いかたも学ぶ事ができました。

遠足では、調べておいた事柄を本物の動物を見て確かめ、それぞれの動物の特徴をとらえて、丁寧に描かれた素敵な作品を完成させることができました。



学校図書館の窓から 楽しい本 いろいろ



読書感想画・感想文コンクール

『オオカミがやってきた!』



うちだちえ作／山口マオ絵

童心社

ひつじの村をオオカミがねらっています。それを知ったひつじたちは緊急会議を開き、あの手、この手を考えます。さあ、オオカミ撃退作戦はうまくいくのでしょうか？仲間と知恵があれば何かすごいことができるかも！

『どうやって作るの？パンから電気まで』

オールドレン・ワトソン作／竹下文子訳



偕成社

本や電気、はちみつの作られ方などが分かりやすく描かれています。絵本の中で働いているのは可愛い

きつねなどの動物たち。技術が進歩しても、作り方の基本は同じ。そんなことを考えながら、中学生でも楽しめる一冊です！

八王子市は次代を担う子どもたちが自主的に読書に親しみ、豊かな人間性を育むことができる「読書のまち八王子」の実現を目指すため、「子ども読書活動推進計画」を策定しています。その取組の一環として、市教育委員会では児童・生徒の読書活動の推進を図るため、市内在住・在学の小・中学生を対象に平成17年度から読書感想画コンクールを、平成24年度から東京八王子西ロータリークラブと共催して読書感想文コンクールを実施しています。

平成27年度は感想画1,215名、感想文4,183名の応募がありました。多くの子どもたちがコンクールを目指して学校図書館や市立図書館に足を運び、感想画や感想文を書くための本をたくさん借りていきました。なかには、図書館司書に相談し、積極的に学ぼうとする頼もしい子どもの姿がありました。

＜平成26年度の市長賞＞そのほかの入賞作品も市のホームページに掲載されています。



市長賞 下柚木小学校6年 藤嶋凌大 さん
読んだ本 『トロッコ』 芥川龍之介



市長賞 みなみ野中学校3年 日向野はづき さん
読んだ本 『GOSICK』 桜庭一樹



市長賞 下柚木小学校3年 藤嶋柚乃 さん
読んだ本 『しゅくだいさかあがり』 福田 岩緒

第二回学校図書館ボランティア研修会 ボランティア活動に役立ついろいろ

11月18日(水)午前・午後、教育センターにおいて4つのテーマで講座を開設しました。

「修理入門」「環境整備」「壁面装飾」「修理応用編」を実施、テーマごとに、20名の学校司書が分かれて担当講師を務めました。参加者も合わせて100名以上となり、それぞれ楽しく学べたという感想と共に、他校のボランティアとも交流することができて有益な研修会だったという声もいただくことができました。

今年度は年明けの2月16日(火)にステップアップ研修会を予定しています。受講記録のステップが6個以上の方が対象となります。

今後もボランティアのみなさんの活動に役立つ研修内容を取り入れていきます。



壁面装飾講座で作製された作品は、生涯学習センター図書館に展示します。

発行日：2015(平成27)年12月15日

問い合わせ先：八王子市学校図書館サポートセンター

八王子市教育センター(八王子市散田町2-37-1)内

電話 042-664-1135/ファックス 042-662-2988